

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	相模湖交流センター
指定管理者	アクティオ株式会社
指定期間	H23.4.1 ～ H28.3.31
施設所管課	土地水資源対策課 ( )

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

**B**

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。  
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。  
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。  
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。  
（Dが2つ以上の場合）

<p>&lt; 1 管理運営等の状況 &gt; 提案に基づいた多様な自主事業の開催により、利用者数については前年同期を上回っている。また、館の管理運営については、利用者にも好評を得ており、収支状況についても節電等により良好な収支状況であった。</p> <p>&lt; 2 収支状況 &gt; 年間の修繕計画を下半期に行なうこと及び節電など経費の節減により支出額の減に努めた。また、収支差額は、支出減により13%プラスとなったためA評価となった。</p> <p>&lt; 3 利用状況 &gt; 今年度上半期の利用者数は、全ての月において前年度を上回り、前年対比8.3%のプラスとなりA評価となった。目標値を設定しているホールとギャラリーの利用率についても、ホール80%に対し88%、ギャラリー65%に対し63%と、利用率についても順調である。</p> <p>&lt; 4 利用者の満足度 &gt; 自主事業開催時に入場者全員へアンケート調査を実施し、上位2段階の回答割合が82%となったため、A評価となった。回収率は、筆記用具の貸与により41.7%と昨年の年間回答率34.4%を上回った。</p> <p>&lt; 5 苦情・要望等 &gt; 特になし</p> <p>&lt; 6 事故・不祥事等 &gt; 特になし</p> <p>&lt; 今後の方針等 &gt; 利用者の満足度が高い自主事業を実施すると共に、利用者への配慮を踏まえた節電等の運営に努めながら、更なる利用者増や施設の利用率が向上するような取組に期待したい。</p>
---

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (自主事業)	施設を「アクアロジカル・コミュニティーセンター」すなわち、(1)平和・友好・共生のシンボルとして、(2)水源地域の自然の保全をPRする場として、(3)活性化のためのハブ機能として、(4)豊かな自然、美しい水と触れ合う場所として及び(5)様々な交流の場を提供する「コミュニケーションセンター」として、多様な自主事業を開催し、サービス向上により利用者の拡大を図る。	1. 猪俣猛JAZZオーケストラコンサート（ホール） ・開催日：8月1日 ・入場者数：203人 ・内容：夏の恒例行事である相模湖地区最大の行事である湖上祭(花火大会)を一層盛上げ、多くの水源以外の方々を花火大会に招くため、観光協会とJR相模湖駅と連携しジャズコンサートを開催した。

提案内容		実施状況等
2 (自主事業)	同上	2. 相模湖ミュージックパーク A to Z (ホール) ・開催日: 8月31日 ・入場者数: 約200人 ・内容: 相模湖在住、在勤の方々のアマチュアバンドに発表の場を提供するとともに、最初の企画から舞台、照明、設備の準備、最後の演奏、撤収まで出演者とスタッフ全員で共に作り上げていく、子供から大人まで一体になった参加型の音楽イベントを開催した。
3 (自主事業)		3. 佐藤初女講演会「食はいのち」(ホール) ・開催日: 4月21日 ・入場者数: 367人 ・内容: 著名な福祉活動家、教育者を招聘し講演することにより、水源地の居住者に様々な問題を考える機会を提供することを目的とし、地元在住者の企画をサポートする参加型企画の講演会を開催した。
4 (自主事業)		4. 第二回 ダムマニア展 (ギャラリー) ・開催日: 7月9日～15日 ・入場者数: 962人 ・内容: 平成23年度に開催したイベントが大変好評であったため、参加者の要望に応じて第二回目を開催した。参加者は全国から集まり、写真、ダムカード、絵画鑑賞などの他にトークショーと、参加者から好評をいただいた。
5 (自主事業)		5. 水源地の芸術 (ギャラリー) ・開催日: 5月22日～6月8日 ・入場者数: 566人 ・内容: 相模湖という人造湖をテーマにした若手芸術家集団による企画展を水源地において意義があるものとして開催した。 期間中に水源地の居住者に参加頂きシンポジウムとテーブルトークを開催するなど、相模湖の歴史や人造湖との繋がり等について議論が白熱し、有意義なイベントとなった。

## (2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	5月9日	5月21日	○	—	○	無	
5月	6月7日	6月25日	○	—	○	無	
6月	7月9日	7月25日	○	—	○	無	
7月	8月9日	8月26日	○	—	○	無	
8月	9月9日	9月13日	○	—	○	無	
9月	10月9日	10月29日	○	—	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の10日まで

## 2 収支状況

評価 **A**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。  
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。  
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。  
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計	うち納付金		
募集時の県積算額 (参考)		79,955	6,400	525	86,880	86,880		0
年度計画	前年度	80,055	6,300	525	86,880	86,880	0	0
	上半期	40,020	3,200	225	43,445	43,445		0
	下半期	40,035	3,100	300	43,435	43,435		0
	今年度	79,955	6,400	525	86,880	86,880	0	0
	上半期	39,900	3,200	263	43,363	43,363		0
	下半期	40,055	3,200	262	43,517	43,517		0
上半期実績	4月	6,650	409	17	7,076	5,623		1,453
	5月	6,650	552	6	7,208	5,565		1,643
	6月	6,650	636	8	7,294	6,498		796
	7月	6,650	480	68	7,198	6,165		1,033
	8月	6,650	591	1	7,242	6,755		487
	9月	6,650	418	7	7,075	6,713		362
	上半期合計	39,900	3,086	107	43,093	37,319	0	5,774
	対収支計画比	0.0%	▲ 3.6%	▲ 59.3%	① ▲ 0.6%	② ▲ 13.9%	③	13.3%
参考	前年度 上半期実績合計	40,020	2,960	102	43,082	36,540		6,542
	対前年度 上半期実績比				0.0%	2.1%		

※その他収入の内容 雑収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

### 収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	該当なし
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	○	年間の修繕計画を下半期に行うこと及び光熱費等の経費節減に努めたことによる。
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等  
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等  
 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等  
 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

### 3 利用状況

評価 **A**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、  
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～95%未満
- D : 85%未満

目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～95%未満
- D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定員比で

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	4,664 人	4,281 人	108.9 %
5月	3,839 人	3,473 人	110.5 %
6月	4,394 人	4,342 人	101.2 %
7月	5,585 人	4,974 人	112.3 %
8月	4,657 人	4,372 人	106.5 %
9月	3,572 人	3,226 人	110.7 %
合計	26,711 人	24,668 人	108.3 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	26,711 人	24,668 人	— 人	① — %	② 108.3 %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	26,711 人	24,668 人	0 人	— %	8.3 %

※利用者数の目標値の設定の有無

設定していない

※ホール及びギャラリーの利用率 ホール80%、ギャラリー65%  
実績 ホール88.44% (130/147)、ギャラリー63.46% (99/156)

#### 利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	—	利用者数の目標値は設定していない。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	○	館の利用率については、ホールは前年度と同率の88%、ギャラリーは前年度49%に対し今年度は63%と前年度を大幅に上回っており、特にギャラリーにおけるダムマニア展等の開催により、ギャラリーでの自主事業入場者数の増加などが要因と考えられる。

#### <参考>

##### 施設の最大利用可能人数

	多目的ホール	研修室 A	研修室 B	主催者控室A	主催者控室B	合計
定員(1日あたりの延べ人数)	456	20	20	6	6	508
年間利用可能日数	281	308	308	308	308	
最大人数	128,136	6,160	6,160	1,848	1,848	0 144,152
半期	64,068	3,080	3,080	924	924	0 72,076

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

#### 4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **A**

(評価の目安)

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	217	352	120	4	2	695	569 (82%)

※今年度の実施予定

上半期 17 回

下半期 14 回

その他

※配布・回収件数

配布 1,870 件

回収 780 件

回収率 41.7% %

※実施方法

利用者等に配布

リストから選択

リストから選択

リストから選択

#### 5 苦情・要望等

評価 **B**

(評価の目安)

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

##### 報告件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	0	0
下段：報告件数のうち所管課受付分	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )

##### 苦情・要望等への対応

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望等への対応を行ったものを記載。

## 6 事故・不祥事等

評価 **B**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
( )		
( )		
( )		